

# 北海道拓殖鉄道 学習レポート

## 瓜幕にも拓鉄が走っていた!

インターネットから

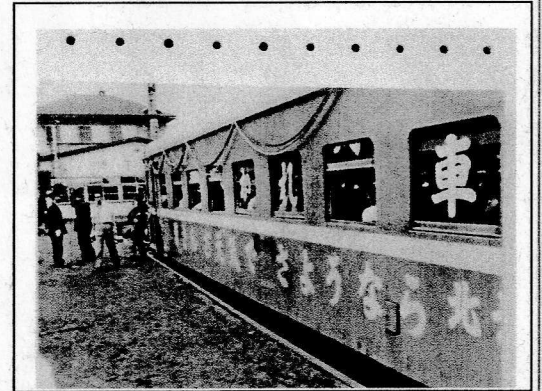
十勝北部地域開発を目的に鉄道敷設計画がたてられ、大正12年鉄道大臣の認可を得て、同年北海道拓殖鉄道株式会社が設立されました。昭和3年新得一鹿追間の営業が開発され、農林産物と旅客輸送の導入して、地域開発に大きな使命を果たしたが、陸上輸送の形態が変わり、昭和43年全線廃止となった。

鹿追町役場ホームページより

堀川昌廣さんのお話から

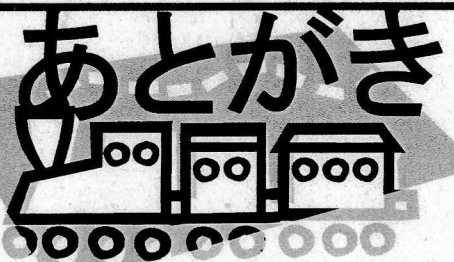
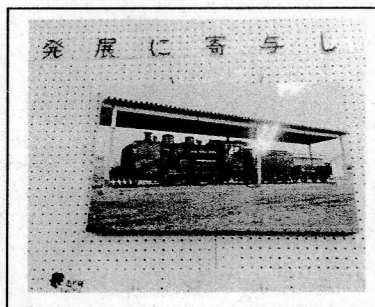
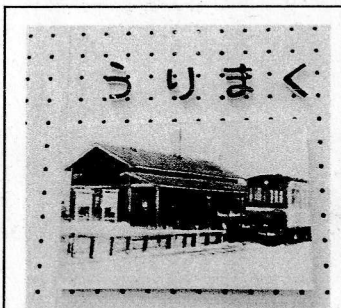
拓鉄は、新得から足寄まで伸ばすはずだったが、途中で終わってしまった。拓鉄が出来る前は、馬車で移動をしていた。木材の集積場から木材を木工場へ運び加工したり、農産物のビートなどをも運んでいた。拓鉄駅の南側に学校があった。

昭和3年から6年までの間に新得から上士幌間の54.3キロを開通し、地域の産業・文化の発展に貢献した。



## 拓鉄の学習をして

拓鉄について調べてみて、最初は拓鉄というのがあまり知らなかったけれど、調べていくうちに拓鉄が走り出した年代がわかり、配線になってしまった年代もわかっていきました。見学の時、鹿追に保存されている拓鉄を見て、「昔は拓鉄で荷物をはこんでいたんだ。」と思いました。資料館に行って昔の駅の写真が残っていてすごいなと思いました。



私は、文字を打ったり、文章を考えたりすることがとても苦手なのでとても大変でした。

そしてタイトルもなかなか決まらなくて時間がかかってしまいました。でも、できあがって見たらとてもうれしかったです。

